



教育センター・育成センター所報

平成29年度 秋号

GALILEI



理科実験の魅せ方講座 出ました松延マジック！

8月10日（木）

CONTENTS

○巻頭言 P 1

★「科学の魅力」

科学技術教育センター 協力員 渥美 猛

○教育センターだより

★アクセス（教育研究班）..... P 2

★プロジェクト K（科学技術教育センター）..... P 5

★心の窓（教育相談係）..... P 9

○青少年育成センター通信 P 1 1

○所員随想「つれづれ」 P 1 3

★秋深し（近況報告）

青少年育成センター 指導員 関 恒夫



夢・サイエンス代表 松延 康様

「科学の魅力」

柏崎刈羽地区科学技術教育センター協力員 渥美 猛



この夏、柏崎刈羽地区の小中学校の教職員を対象にした、理科教育講演会を行いました。TV番組「世界一受けたい授業」でも講師を務めたことのある松延 康（まつのぶ しずか）先生から科学実験ショーとともに、理科教育の展望について講演をしていただきました。参加者の多くは、理科を担当している小中学校の教職員ですので、理科で学ぶ理論や仕組みに熟知した方々ばかりでしたが、松延先生の実験ショーでは皆さんが目を輝かせ、釘付けになって見ていました。

実験ショーの一部を紹介します。中学校1年生で学習する、「大気圧」を利用した実験です。グラスに水を満たし、グラスの口にふたをして逆さにしたとき、ふたがグラスから落ちないという現象があります。何gの重さまで耐えられるのかを、グラスの口の面積から数値で算出することができますが、それを体験と交えてみるとどうでしょう。想像してください。水を満たしたグラスにふたをして、ふたが落ちないように手で押さえながら逆さまにします。そのグラスを頭の上に移動させてからふたに添えていた手を放す。頭の上から水がビシャッと落ちてくるのではないかとドキドキしませんか。理論上では、 1cm^2 で約1kgの重さに耐えられるので、ひどく揺らすようなことをしなければ、水はこぼれないはずです。

今回の理科教育講演会では、実験方法や実験道具を工夫することで分かりやすく、楽しいものになるということを教えていただきました。実験ショーも、科学的に説明することができる現象ばかりですので、道具があれば教室でも実演することができます。その道具も特殊な装置は少なく、理科室にあたりホームセンターで調達することができたりするものばかりです。理科の先生だけではなく、より多くの先生方に体験して欲しかったと思っています。

その様な科学の魅力を体験する機会が、当地区にはあります。11月23日（木・勤労感謝の日）に新潟工科大学を会場にして「青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会」が行われます。この大会は、「科学に関わる実験やものづくりを通して、柏崎刈羽地区の児童生徒と地域住民の科学に対する興味・関心を高める」というねらいを掲げ、地域の理科振興の一助として毎年開かれているものです。

科学の祭典では“ブース”という出店のような形式で、実験や工作を楽しんでもらっています。小・中学校の先生が開くブースもありますし、地域の企業、大学、科学振興団体などがそれぞれの特徴を生かして運営するブースもあります。鉄道模型を走らせたり、てんぷら油からエネルギーを取り出したり、様々です。定番の「スライム」「キャンドル」などの人気ブースだけではなく、新しい実験や工作のブースを立ち上げ、リピーターの子どもたちにも毎回楽しんでもらえるように企画しています。

科学の祭典を行うと、来場者だけではなく、ブース運営に携わった先生方・地域の方からも一様に「科学の不思議を体験して楽しかった」という感想を得ています。すでに機械化されて日常生活に溶け込んでいる原理、視点を変えないと見えない小さな世界を体験することは、誰もがもっている探究心を刺激してくれることでしょう。そして、「何で？」から「なるほど！」とすることに、気持ちよさを感じることでしょ。

科学は特別なものではなく、生活に密接に結びついているものです。ぜひとも多くの方々から参加していただき、仕組みや原理に触れ、科学の魅力を感じていただきたいと思います。

アクセス

講師：筑波大学附属小学校 教官 白坂 洋一 様

[illegible]A photograph showing a group of students in a classroom setting. They are seated at desks, some looking at papers or books, and others looking towards the camera. The room has windows in the background.

– 2 –

[illegible]

-

門出和紙の紙漉き体験

◆8/26（土）「釜石の奇跡」と呼ばれた子どもたち～防災文化をどう創るか～

講師：前 釜石小学校長 渡邊 真龍 様

渡邊真龍様の講演の様子

また、中越防災安全推進機構地域防災センターの松井様からは、大地震などの災害時を想定して、どのように行動したらよいか選択するクロスロードゲームを実施していただきました。「生き埋めになった人を助けるか、それとも子どもの安否を確認するか」などの問いについて、会場にお越しの方と意見を交わすことで、災害への備えや防災意識を高めることの大切さを学びました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 参加者の感想 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

-

「こんなとき、あなたならどうする？」
防災クロスロードゲーム

■ セキュリティ情報

Office2007 のサポートが終了

10月11日でマイクロソフト Office2007 の延長サポートが終了しました。Windows Vista と同時期に登場したバージョンですが、Vista は既に 4 月でサポートが終了しています。

サポートが終了すると、新たな脆弱性が見つかって、それを修正する更新プログラムが提供されないということです。ひとたび新たな脆弱性を悪用するマルウェアが出回ってしまえば、他のパソコンと比べて「乗っ取り」や「情報の漏洩」のリスクが著しく高くなりますので、サポートが終了したソフトウェアは、業務に利用すべきではないでしょう。

■ 今年度の整備機器の紹介

各校に 65 型の電子黒板を整備します

今年度は、日常の授業の中で、デジタル教科書などの教材を有効活用していただくために、小学校・中学校ともに 1 学年分の学級数に相当する台数の電子黒板をノート PC とセットで整備します。設置する教室については別途案内がされていますが、ここでは主な特徴を紹介します。ぜひ活用してください。



主な仕様

65V 型ワイド(対角 163.9cm)TFT 液晶

解像度:1,920×1,080(FullHD)

表示画面:1,428.5×803.5(mm)

映像入力端子:アナログ RGB×1、HDMI×4、DisplayPort×1

音声入力端子:3.5mm ミニステレオ×1

同梱ソフト:SHARP ペンソフト、SHARP ディスプレイコネクト、SHARP タッチビューアー

消費電力:205W、質量:約 57.5kg

PN-C651B(スタンドは異なります)

○液晶ディスプレイだから明るい教室でもすぐれた視認性

照明を落としたり、暗くしたりする必要もなく、明るい教室でも鮮やかな映像で見やすく表示できます。

○前面操作ボタン採用

本体前面右下に大きな操作ボタンが用意されており、画面の一時静止、入力切替、音量変更を素早く行えます。



■SHARP ペンソフト(同梱ソフトウェア)の特徴

いわゆる電子黒板の機能を提供するソフトウェアです。ホワイトボードのように利用したり、素早く資料を提示して書き込みをしたりできるなど、豊富な機能が用意されています。

■SHARP ディスプレイコネクト(同梱ソフトウェア)の特徴

無線 LAN ネットワーク内で、電子黒板とタブレット端末などとの間で、画面共有やファイル転送、双方向書き込みなどができます。

■SHARP タッチビューアー(同梱ソフトウェア)の特徴

ファイルの種類を気にせず、タッチ操作で参照・比較できる新スタイルのビューアーアプリです。フォルダと紐付けした「ドローア」からファイルを取り出してシートとして表示し、拡大/縮小、ページめくりなど、シートごとに個別操作が可能です。

【研修会・事業の様子】

＜研修会＞

○ 宿泊野外研修会「美ヶ原・入笠山の植物」

7月29日（土）～30日（日）

◇講師 鏡が沖中学校校長 岸 勝巳 様

1日目は美ヶ原高原の散策、2日目は入笠山登山をしました。両日とも曇天でしたが、多くの植物やチョウとの出会いがありました。

また2つの研修地はそれほど離れていないにもかかわらず、地質時代的には大きな隔たりがあることも現地地の石を観察することで体感できました。



○ 谷根川溪流ウォーク 8月3日（木）

◇講師 柏崎・夢の森公園 遠藤 亮 様・渡邊 朝子 様

冷たい川の中を歩きながら、谷根の自然を堪能しました。急流の岩場をよじ登ったり、途中の淵では飛び込みをしたりしながら、子どもたちを連れてきたときの安全面や観察ポイントなどを確認できたようです。



○ 地層観察会 8月7日（月）

今年度は半日日程とし、地域の小中学校が観察地としてよく訪れる米山町聖が鼻を中心に観察会を行いました。

猛暑の中ではありますが、実際に露頭に触れ、化石や火成岩などを観察することで、児童生徒を連れてきたときの指導ポイントを体感することができたようです。



○ 理科教育講演会 8月10日（木）

◇講師 理科教育研究フォーラム夢・サイエンス

代表 松延 康 様・立田 由里子 様

多数のTV番組で活躍されている松延先生から実験を交えたご講演をいただきました。次から次へと紹介される実験とその話術で、参加者はみな子どものように目をキラキラさせながら話に聞き入っていました。唾液実験や理科室管理など、ちょっとした工夫でより指導しやすくなることがたくさん紹介されました。理科が苦手な先生にぜひ見ていただきたい内容でした。



○ 中3「運動とエネルギー」 8月22日（火）

本単元は他の単元に比べ、日常生活の体験を生かした授業展開が容易な単元です。どのような活動ができるかを実習したり、簡単な教材を紹介したりしました。後半は参加者の希望に沿った教材作りを行いました。



○ プラネタリウムで授業を！（小6）② 8月30日（水）

◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウムを活用しながら「月の形と太陽」の模擬授業を行いました。また、月の満ち欠けを理解させるための簡単な教材作りも行いました。

後半は参加者自らがプラネタリウムを操作し、どのような授業展開が可能かを探ることができました。



○ プラネタリウムで授業を！（中3）③ 9月5日（火）

◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウムを使って授業をする際に、どのような操作ができるかを確認する研修を行いました。季節の違いによる天体の見え方の違いや月の満ち欠け、緯度の違いによる日周運動の違いなどを疑似体験しました。



○ プラネタリウム技能習得講座② 9月7日（木）博物館にて

◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

小6「月の形と太陽」の単元で、プラネタリウムを使って授業を行うにはどのような操作が可能なのかを確認しました。

実際に参加者自らがプラネタリウムを操作してみることで、授業の構想が深まったようです。



○ 小4「水の3つのすがた」 9月19日（火）

予備実験を兼ねて、水の加熱と冷却の実習を行いました。二重フラスコのつくり方や、実験器具をセットするときの留意点など安全に確実に実験ができるような工夫を紹介しました。

水の沸騰中にぶくぶくとする泡の正体を確認する実験では、参加者から感嘆の声が上がりました。



○ 上越地区合同野外研修会

「妙高市・平丸ふれあいの森でのブナ林探索」 10月3日（火）

◇講 師 上越教育大学教授 五百川 裕 様

平丸ふれあいの森で秋の植物を観察しました。ウバミソウのむかごやハイイヌガヤの実を試食したり、カンアオイやクロモジの葉のにおいをかいだりと、五感を駆使して学ぶことができました。また雨天だったおかげで、ブナの特徴の一つである、幹を雨水が流れていく様子も観察でき、充実した研修となりました。



10月にはこの他に以下の研修を予定しています。次回のガリレイでご報告します。

○ 生活科「秋遊び」 10月19日（木）

○ ワンポイント研修「葉脈標本作り」 10月20日（金）

○ 中2「天気とその変化」 10月24日（火）



<事業>

○ 科学研究応援プロジェクト

「科学研究相談会」	「参考作品展」	「名前調べ会」
8月4日（金）	8月14日（月）～19日（土）	8月19日（土）
◇講 師 阿部 文夫 様（柏崎動植物研究G）佐藤 俊男 学芸員（博物館） ◇会 場 教育センター	◇会 場 ソフィアセンター ※昨年度の科学作品展で特別賞を受賞した児童生徒の作品も、一部展示しました。	◇講 師 河合 三喜雄 様（柏崎動植物研究G）藤田 進 様（同上） 阿部 文夫 様（同上） 井上 宗温 様（柏崎貝類同好会） 廣田 万博 様（半田小学校） ◇会 場 ソフィアセンター
夏休みに取り組む標本作りや科学研究のための相談会です。当日は20名近くの来場者が相談に訪れ、標本の同定や研究の相談など、講師からアドバイスをもらっていました。	例年より開催期間は短かったのですが、多くの来場者が訪れました。中には作製した標本を持参して、名前を調べている親子もいました。	植物・貝・昆虫標本などの名前の同定に多くの親子が来場しました。講師のアドバイスを熱心に聞き、一生懸命メモする姿も見られました。
		

○ 第52回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

◇期 日 9月15日（金）～20日（水）

◇会 場 博物館

9月14日（木）の厳正なる審査会を経て、標記作品展が博物館にて開催されました。今年も各校から力作が出品され、近年では最多の196作品を展示しました。また、22日（金）には博物館にて特別賞および金賞の表彰式が行われました。出品数などは以下の通りです。

○出品校数：18校 ○作品数：196作品

○金賞（特別賞含む）：13作品 銀賞：31作品 優良賞：13作品 努力賞：139作品



○ 第52回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

◇期 日 10月2日（月）

◇会 場 柏崎市文化会館 アルフォーレ

今年は15校、32作品（参加者34人）の出品がありました。小学校中学年2部門、高学年3部門、中学校1部門の6会場に分かれ、それぞれの部門で児童生徒が堂々と発表しました。

児童生徒の事前指導や、当日指導及び運営にご尽力くださいました先生方、ありがとうございました。なお、詳細な結果は各校にお送りしたとおりです。

【要請授業など】

- 生活科「虫さがし」(槇原小)
- 星空観察会(荒浜小・鏡が沖中・南中・槇原小)
- 科学クラブ(田尻小・剣野小・槇原小)
- 地層観察会(三中校区小学校・枇杷島小・松浜中)
- 川の観察会(田尻小)



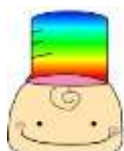
科学クラブ(田尻小)



地層観察会(三中校区小学校)
第三中学校の早津先生からも
ご協力いただきました。



虫さがし(槇原小)



今期もたくさんの要請をいただきました。都合のつく限り、伺いますので、いつでも声をかけてください。
(ただし、協力員は火～木曜日の午後、または金曜日のみの要請ですので、お気をつけください。)

事業のご案内 11月～3月

- 青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会
- ◇日 時 11月23日(木 祝)
- 9:50～15:30
- ◇会 場 新潟工科大学

詳細はポスター・チラシで御確認ください。
ご協力・ご来場、お待ちしております！

研修会のご案内 11月～3月

- 小5「電流のはたらき」
- ◇日 時 11月1日(木) 15:00～16:45
- 小3「明かりをつけよう」
- ◇日 時 11月8日(水) 15:00～16:45
- 上越地区教職員理科研究発表会
- ◇日 時 11月28日(火) 9:40～16:45
- 上越の理科を語る会
- ◇日 時 12月2日(土)
- ◇会 場 上越市高陽荘
- 柏崎高校普通科理数コース課題研究発表会
- ◇日 時 2月2日(金)
- ◇会 場 柏崎市文化会館 アルフォーレ

詳細は研修講座一覧をご覧ください。

年度途中の申し込みも可能です。都合がつかう方はどしどしご参加を！

TEL: 23-1168

E-mail: kec@kenet.ed.jp

心の窓

No. 2 0 2

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp



知能を伸ばす家庭での関わり方

『子どもの知能を上手に伸ばすために、家庭では子どもに何をさせたらよいか?』一度は考えたことのある方が多いのではないかと思います。小学校から学習が本格的に始まり、宿題を終わらせる、テストで良い点数をとるということに視点が向いていきます。もちろん大切なことです。しかし、知能は、子どもが日頃抱く「気分」というものにも大きく左右されるということは忘れがちです。「感動」や、「情緒」、「感情」といった要素と深く関わっています。家で子どもにしてあげられることはないか?と考えると焦りますが、学校の先生よりも上手に勉強を教えることはとても難しいことです。学校で学習に集中できるようサポートする、“子どもにとって望ましい家庭環境”とは何か?ということにも視点を向けてみると、できていることや、これからできそうなことも多いのではないのでしょうか。

“子どもにとって望ましい家庭環境”という言葉を聞くとドキッとします。難しいことをたくさん連想し、自信を失くしてしまう、責められているような気持ちになるキーワードのように思います。しかし、基本条件是、子どもとの心の通う場面や、対話を大切にすることです。できるだけ長い時間、本人と過ごすということではありません。ほんのわずかな時間であっても、子どもと一緒に驚いたり、喜んだりすることが大切なことです。疲れると、返事をするこすら億劫になることがあります、子どもの話をしっかり聴いてあげることは、人の話を聴く力や話す力、集中力を育てます。少しでも気持ちに余裕があるときには、「早くしなさい」と言いたいときに、「急いでほしい」と協力をお願いできるとよいと思います。

また、評価の仕方も大切です。無意識のうちに様々な基準で子どもを評価し、“ここまでではできてほしい”と思う余り、何かをさせることや、できたかどうか、苦手なことをなくしたいということに気を取られます。失敗を叱る、結果だけに注目して褒めると、受け身で、自信のない子を育てていきます。子どもが何をできていれば成功で、何をできていなければ失敗だということはないのです。努力して取り組んだことも大切なことです。忙しいと、できていることを見落としがちになりますが、ほんの一言、「がんばったね」「ありがとう」などと声をかけてみると、お互いに気持ちが落ち着いてきます。子どもにとっては、ほとんどが初めてのことで、難しいことです。努力を認めてくれる、結果を否定されないということが、難しそうなことに対して、“おもしろそう”“やってみよう”と取り組む、壁を乗り越える力を育てます。

お子さんは、家庭でどんな姿を見せていても、保護者の方が大好きです。そんなお子さんに、「どんなあなたであっても、大切に思っている」というメッセージを送り続けてあげてほしいと思います。

(文責 相談員 服部 智恵)

【参考文献】母のひろば 630 号『いきいきとした知力を育てる』:(著)白濱洋征、エスアイつうしん おうちの方へ 第25号 年長=FS(5歳児)/9月号『知能を伸ばす家庭環境』:(著)千葉 晃



☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

《弥彦・寺泊バス課外体験》

9月26日(火)、ふれあいルームの通級生はバス課外体験に出かけました。前期は異常気象が続き、ルームの行事は大打撃でした。八石登山が予備日ともに雨に流され中止になりました。バス課外も大雨洪水土砂崩れ警報とともに、中止になりました。リベンジの企画である今回は素晴らしい



秋晴れに恵まれました。

弥彦神社の木立や参道、弥彦の町並みは普段生活しているふると柏崎にはない独特の空気感がありました。通級生も、普段と違う雰囲気を感じたようで、表情が神妙でした。有名なパワースポットで新たなエネルギーを充電しました。

寺泊水族館は、芝生をもしやもしや食べる陸ガメと、体の角質を掃除してくれる「ガラ・ルフア」というドクターフィッシュが大人気でした。「こそばゆさを我慢するという気持ちよさ」がたまりませんでした。



(ふれあいルーム指導員 保坂尚哉)



相談係予定



《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ(SST)

◎時間

- ・16:30~17:30 小学校A・B・Cグループ
- ・18:30~20:00 中学校①・②グループ

◎予定

【11月】

A: 2日(木) B: 10日(金) C: 17日(金)
中①: 22日(水) 中②: 24日(金)

【12月】

A: 1日(金) B: 8日(金) C: 15日(金)
中①: 21日(木) 中②: 22日(金)

【1月】

A: 5日(金) B: 12日(金) C: 19日(金)
中①: 25日(木) 中②: 26日(金)

《ふれあいルーム》

【10月】

25日(水) 陶芸教室①

【11月】

9日(木) 陶芸教室②
14日(火) ソフィアセンター
16日(木) 陶芸教室③
27日(月) ~ 29日(水)
通級生面談

【12月】

5日(火)・6日(水) 保護者面談
7日(木) そば打ち体験
12日(火) ソフィアセンター
14日(木) スケート体験①
22日(金) 後期前半通級終了

【1月】

9日(火) 後期後半通級開始
15日(月) ソフィアセンター
18日(木) スケート体験②
25日(木) ヨガ体験



第37回中高生と大人の座談会 ～これからの時代を生き抜くために～

8月6日（日）、恒例の中高生と大人の座談会を実施しました。

今年のテーマは、「これからの時代を生き抜くために」としました。実行委員会を立ち上げ、委員の間からは、子どもたちに「自分に負けない心、相手を思いやる気持ちを育てたい。」との意見が出ました。3月の育成委員研修会の講師であり「青少年の理解と親・子への声かけ」の演題で講演いただいた、認定NPO法人マミーズネット代表中條美奈子様から「孤独を感じたとき、あなたはどのようにしますか。」のテーマで講演をお願いしました。

中高生がいま現在の学校生活・友だち付き合い・親との関係をどのように考え、これから自分がどのような大人になっていくのか、どのように成長していくか、を考える良い機会となる講演となったのではないのでしょうか？



中條さんはとてもやわらかな口調で話しかけられ、中高生たちも真剣に聞いていました。「生まれて6か月以内の赤ちゃんを抱いたことがありましたか」「孤独のグルメを見たことがありますか」など、身近な話題を交えての講話でした。中高生の感想を見ていても、普段自分たちが考えていること、悩んでいることなどがこの講話やそのあとのグループワークを通して、これからの学校生活・友だち付き合いなどの参考になるとの意見がたくさん出されていました。

グループワークでは、「講話を聴いた感想」「今まで孤独を感じたとき」「自分が孤独を感じないために」の3つの視点で約100分間かけて、話し合ってもらいました。今年度も、高校生がリーダーとなって中学生を含むグループで話し合うワークショップ形式で行いました。

全体会では、グループの全員が協力して自分たちの考えを堂々と発表し、その姿は、中高生の話し合いの様子を見守った大人たちに大きな感動を与えました。

参加した子ども達の真摯な姿勢を見て、私たち大人は、この子達が世界の中で立派に活躍できる大人に育っていけるよう、しっかり見守っていかなければならないとの決意を新たにいたしました。



平成29年度 青少年を取り巻く社会環境実態調査結果

調査の概要

青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行防止活動に資するために、7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の取組の一環として実施しました。

調査方法

青少年育成委員が巡回調査を実施しました。

実 態

※一印は、隔年調査のため今年度は実施しない。

年度 調査項目	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	前年比
酒類自動販売機台数	9	9	—	5	—	4	—	—
タバコ自動販売機台数	159	152	—	103	—	83	—	—
酒類販売のコンビニ店数	36	36	35	34	40	36	37	+1
タバコ販売のコンビニ店数	36	36	35	34	40	36	37	+1
有害ビデオ自動販売機台数	15	14	14	14	14	10	8	-2
一部有害図書販売書店数	8	7	7	7	7	6	5	-1
一部有害図書販売コンビニ店数	34	35	33	33	40	36	37	+1
ゲーム場数	6	6	5	—	3	—	3	—
エアースoftガン取扱店数	4	4	4	—	2	—	2	—
大人のおもちゃ販売店数	1	1	1	—	1	—	1	—
成人向ビデオ販売書店数	5	4	5	—	5	—	5	—
成人向ビデオ貸出店数	5	5	5	—	5	—	5	—
カラオケボックス店数	4	4	—	3	—	3	—	—
マンガ喫茶・インターネットカフェ	1	1	—	1	—	1	—	—

コンビニエンスストアの店舗数は昨年より1店舗増加しました。各コンビニエンスストアでは、いわゆる「有害図書」の陳列規制に従って販売しているようですが、どの店舗もトイレ入り口付近に設置されており、トイレ待ちをする青少年の目に触れることが気になるようです。

また、有害ビデオ自動販売機台数・一部有害図書販売書店数は今年度も減少しました。

11～2月の予定

11月			12月	1月	2月
日	曜	ことから	12月～2月中は街頭育成を実施しません。 育成委員はそれぞれの地区で子どもたちを見守ります。		
6	月	夜間育成活動			
13	月	昼間育成活動			



秋 深 し(近況報告)



青少年育成センター指導員 関 恒夫

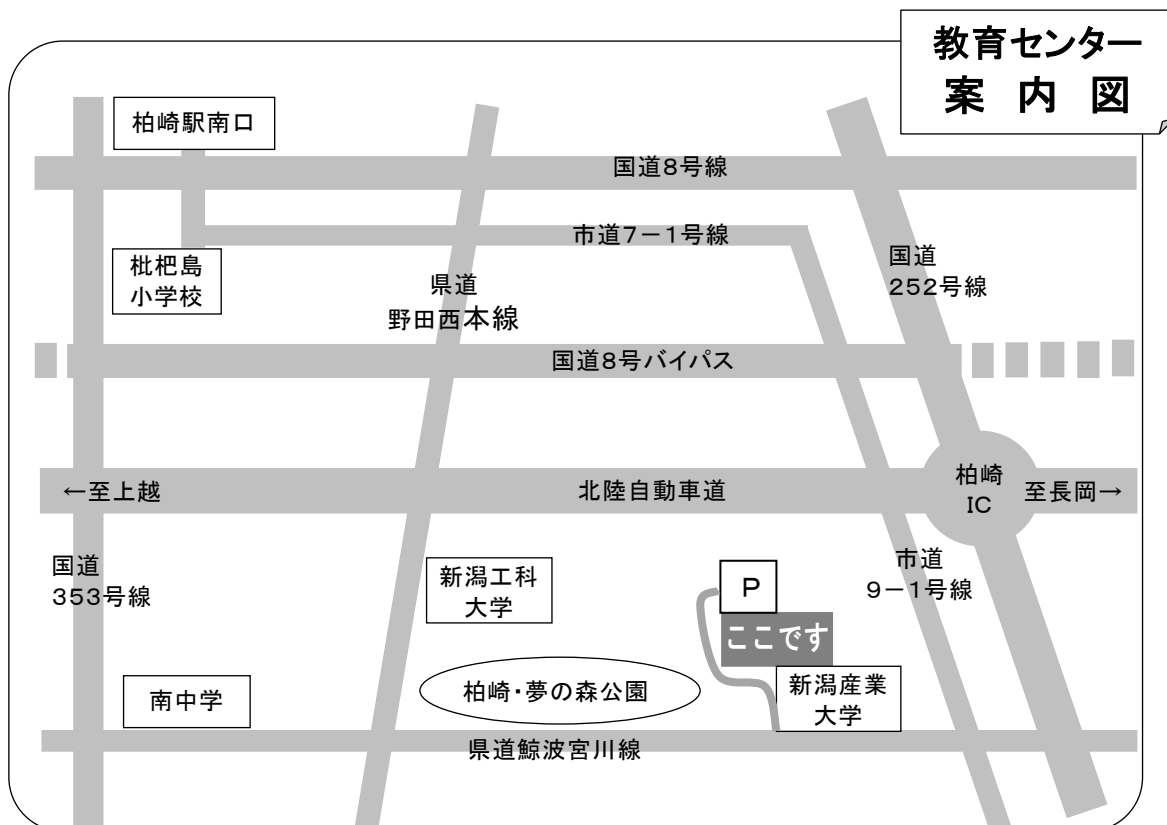
暑かった夏もいつの間にか過ぎ去り、秋がやってきました。暑さが苦手な私にとって、この季節は最も好きな季節です。頭の中もクールダウンしていますので、半年を振り返りながら物事を考えて思いを新たにする良い機会になっています。

さて、今年は、長年勤めた職場を退職して新たな仕事に就きました。慣れないこともあり、慌ただしい上半期でした。(Uさん、ありがとうございました。)

還暦を迎え、以前とは違う自分を実感しています。体力、気力の衰えをじわじわと感じています。これまでは同時多発の事態に際しても、何とか順序立てて整理し対応していくことができましたが、近時は自分でも「ん？」という感じになることが出てきました。「年齢相応なのだな。あまり無理してパンクしないようにしようっと。」と思うようにしています。「なるようになる。」であります。

長年慣れ親しんできた働き方から短時間勤務に変わり、自由になる時間ができてきました。最初の内は戸惑いもありました。「何をすればいいんだろう。」と思い、焦ってみたりしたこともありましたが、今は、「時間をかけて何か見つけられればいいや。」と気持ちを切り替えて過ごしています。焦らずにいろいろやってみたいと思っています。

多くの時間を地元地域で過ごすようになり、今までは見えなかった地域の姿が見えてくるようになりました。田舎ですので少子高齢化や単身世帯の増加が進んできています。周りを見れば、数年前とは大きく様変わりしています。この先どのようになっていくのだろうかとも思いますが、何はともあれ、幼い頃から自分を見守り育ててくれた地域の人達への恩返しをしながら、過ごしていこうと思っています。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

研修講座に関する
お問い合わせは
こちら
23-1168
(にいさん、いろいろっぱ)

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（いじめ不登校電話相談）

TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成29年10月発行

=====